

User Report

旅行企画・貸切バス

タイガートラベルグループ
ラビットバス(株) (株)タイガートラベル

小さな組織だからこそ、管理部門と現場の信頼関係が大切。 Karte-PRO などシステムの力を借りて、安全・安心を高める

東海電子では2018年8月にクラウド運転者台帳「Karte-PRO」の販売を開始しました。これは法令で定められた運転者台帳の管理項目を電子化することで、管理部門の業務を支援するもの。今回はこの「Karte-PRO」を先駆的に導入しているタイガートラベルグループに話を伺いました。

ご利用機器

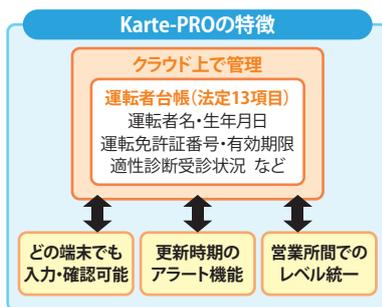
クラウド運転者台帳 Karte-PRO

テスト段階から 試験的に導入 増え続ける書類作成・保存義務 煩わしい運転者台帳管理に光明

西田：当社グループは、どちらも北九州エリアを拠点に貸切バス事業を展開しており、タイガートラベルは旅行企画を含めた形での事業を、ラビットバスは貸切バス専門で各種サービスを提供しています。創業は2003年（ラビットバスは2011年設立）と比較的若い会社ですが、当初から全車両の運行状況が一目で分かるGPSシステムを導入するなど、顧客ニーズへのきめ細やかな対応と安全性向上に努めてきました。

大吉：運転者台帳の作成・管理について正直にお話すると、煩わしさを感じていました。既製の紙台帳への手書きから始まり、その後、パソコン入力にしましたが、小さな組織では一人の人間がいくつもの業務を兼務しますので、どうしてもしわ寄せが行ってしまいます。そんな頃、東海電子のセミナーに初めて参加した時、Karte-PROの紹介があって興味を持ちました。まだ発売前のテスト段階とのことでしたが、「お試して入れてみませんか」という提案をいただいたのが始まりです。

紙ベースの場合、書き損じやちょっとした記入漏れ、情報追加時に書く欄が足りなくなる、といったことがよくありました。また、パソコンへの入力



についても、自社で作ったファイルでは使いやすさの点で限界がありますし、情報漏洩の恐れもあります。そういった観点で言うと、クラウド上で必要な情報をきちんと整理し保管できるのは、Karte-PROの良さですね。

また、運行管理業務の厳格化に加えて、この業界では、作成・保存すべき書類が極めて多くなってきており、日々の中できちんと処理しておかなければ、セーフティーバス認定の継続も通りません。小さな会社だからこそ、事業の円滑な継続のために、システムの助けを借りることが必要だと思いますし、Karte-PRO導入のメリットも大きいと感じています。

管理部門の役割 「現場を支える管理部門」を支える 各種アラートで「管理漏れ」を未然防止

西田：もともとタイガートラベルグループは、「地域のお客様のための、地域密着のバス会社」をコンセプトに立ち上げた会社。ですので、大手旅行代理店のみならず、子供会の遠足や部活送迎、小学校の社会科見学、冠婚葬祭など、様々な形でご利用いただいています。そうした様々なご期待にお応えするためにも、乗務員が安心して働ける環境をつくるのが、管理者としての役割ではないでしょうか。

大吉：「私たちにとってバスを動かすことは日常でも、お客様にとっては、スケジュールを調整し、その日を楽しみにしていच्छる特別な日ですから、その感覚を忘れないでね」という話を乗務員に常にしています。これは私たち管理者も同じで、せっかく外で乗務員ががんばっているのに、管理側が、たとえば免許更新を伝え忘れたり、監査で書類不備を指摘されてしまう…というのは、チームとしての信頼関係を損ねる原因になります。

Karte-PROには、情報の更新漏れを未然に防ぐアラート機能が備わっているため、その点でも安心できます。欲を言えば、自社独自で定期的に行っているチェック項目についても、アラート設定ができるといいですね。

取材ご協力

ラビットバス株式会社
常務取締役 大吉 智子 様
株式会社タイガートラベル
貸切バス事業部 本社営業所 部長 西田 哲也 様

〒800-0302 福岡県京都郡苅田町若久町3-1-15
TEL 093-967-9100 FAX 093-967-9101
(ラビットバス株式会社)



取材後記 同社では、社員研修や健康管理にも独自のスタンスで取り組んでおり、例えば運行管理者資格は新人乗務員が入社した直後での取得を支援。MRIやSAS検査は法定以上の頻度での受診を会社負担で行っており、拡充も検討しているそうだ。